

(保8) F
平成23年4月4日

都道府県医師会
社会保険担当理事 殿

日本医師会副会長
中 川 俊 男

「エンシュア・リキッド」「エンシュア・H」の
現況と対応策について

経腸栄養剤「エンシュア・リキッド」(250mL 缶入)「エンシュア・H」(250mL 缶入) (明治乳業・アボットジャパン) は、通常の食事で栄養を摂取できない場合や手術直後の患者さん等への栄養補給を目的に医療機関、在宅、介護施設などで汎用されるものですが、今般の地震で、同製品を詰める缶容器を製造・供給する企業の仙台工場が被災したため、生産ができない状況にあり、3月22日時点での在庫は約1か月分となっております。

現在、代替の容器でバニラフレーバーに集約して製造準備を進めていますが、再出荷は5月下旬になるとのことです。また、同時に、被災の影響のなかった「エンシュア・リキッド」(500mL バッグ入)の増産を始めています。さらに、海外で「エンシュア・H」を製造・輸入させ、早ければ5月中旬から販売する予定とのことです。

一方、国内で代替医薬品となっている「ラコール配合経腸用液」(イーエヌ大塚製薬)は厚生労働省の要請を受け、増産することとなりました。

上記のような対応をすることで、遅くとも6月以降は震災前と同じ量が供給されますが、それまでの間、その他の経腸栄養剤で代用しても、経腸栄養剤全体として最大20%程度分の不足となる状況が想定されています。

このような状況の下、厚生労働省は、医療機関や調剤薬局に対して、通常時を上回る在庫の保持を控えていただいた上で、6月までの間、経口摂取できる患者さんはできるだけ医療食で代替していただくよう要請しております。通常、経腸栄養剤は在宅で多く使われますが、在宅療養において医療食は全額自己負担となるため、患者さんの自己負担の増大の観点から、医薬品(経腸栄養剤)はできるだけ在宅医療で使用し、入院はなるべく医療食で対応してほしいとの

ことです。

つきましては、一時的な供給量減少による患者さんへの影響を最小限とするために、貴会会員へのご協力方の要請を何卒よろしくお願い申し上げます。

(添付資料)

1. 経腸栄養剤の適正使用に関するお願いについて

(平成23年4月1日 厚生労働省医政局経済課・保険局医療課 事務連絡)